

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(7/12)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
東九州メディカルバレー構想特区 (大分県・宮城県)	正	B 3.6	B 3.7  進捗度 ・大分県・宮崎県合計の医療機器生産金額 75%  ・大分県・宮崎県内の新規医療機器製造登録業者数 250%	C 3.4  規制の特例等 ・非治験臨床性能評価制度適用範囲の拡大  財政支援等 ・医療機器産業参入促進事業(課題解決型医療機器等開発事業)  地域独自の取組 ・大分発ニュービジネス発掘・育成事業  ・宮城県創業・新事業挑戦支援ファンド事業 等	+0.00	<p>・有機的なプログラムが展開されているが、<u>参入企業の増加(※1)が生産金額へ反映される施策が必要である。</u></p> <p>・事業の方向性は良いが、目標達成までの推進力、道筋がやや不明確である。数値目標の精査とともに、達成に向けた具体的な方策を考える必要がある。<u>血液・血管医療の特区内での位置付け(※2、3)がやや見えにくい。</u></p> <p>※1: 大分県・宮城県内の新規医療機器製造登録業者数: H25年度目標4件に対し、10件(進捗度250%)</p> <p>※2: 血液や血管に関する医療を中心とした医療産業の拠点づくりを特区の目標としているが、血液・血管医療に特化した評価指標等は設定されていない。</p> <p>※3: 特区計画においては、「大分県から宮崎県にかけての東九州地域は、血液浄化、血管医療に関連する大手医療メーカーが集積している。宮崎県で部材を生産し、大分県で最終加工及び出荷を行っている製品も多く、西日本最大の医療機器生産拠点となっている。」と説明されている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

\*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 \*2)「IIIについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。